

2022年4月1日  
株式会社アイ・グリッド・ソリューションズ  
株式会社 VPP Japan

サプライチェーン企業を中心とした  
国内最大規模となる太陽光 PPA サービス契約  
VPPJapan 累計 全国 600 施設 発電容量 150,000kW を突破  
～センコー株式会社の物流拠点 10 施設へ導入合意～

グリーンテックを推進し、グリーンエネルギーが地域をめぐるサステナブルな世界の実現を目指す株式会社アイ・グリッド・ソリューションズ(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:秋田 智一、以下アイグリッド)の子会社である株式会社 VPP Japan(本社:東京都千代田区、代表取締役:秋田 智一、以下 VPP Japan)は、流通小売、物流企業等のサプライチェーン企業を中心に、施設屋根上に企業専用の太陽光発電所を導入する太陽光 PPA サービス(以下 本サービス)の累計契約が 70 社/600 施設/発電容量 150,000kW を突破しましたのでお知らせいたします。



・契約企業(抜粋)※50音順



## 脱炭素社会の実現に向け、屋根という未利用資産を活用し 自社専用の太陽光発電所を導入する動きが加速

2022年4月から「東証プライム市場」に上場する企業には、気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）提言と同等の気候変動リスクに対する情報開示が求められる事になります。今後は自社のGHG（温室効果ガス、Greenhouse Gas）排出量のみならず、バリューチェーンの上流や下流といった自社の活動外で発生するGHG排出量を算定・報告する義務を負う等、サプライチェーン全体のGHG排出量削減に向け、本格的な脱炭素経営に取り組み、企業価値向上を目指す企業が増加しています。



Scope 1：事業者自らによる温室効果ガスの直接排出（燃料の燃焼、工業プロセス）

Scope 2：他社から供給された電気、熱・蒸気の使用に伴う間接排出

Scope 3：Scope 1、Scope 2 以外の間接排出（事業者の活動に関連する他社の排出）

参照：グリーン・バリューチェーンプラットフォーム HP から抜粋

([https://www.env.go.jp/earth/ondanka/supply\\_chain/gvc/index.html](https://www.env.go.jp/earth/ondanka/supply_chain/gvc/index.html))

昨今脱炭素経営の取り組みの一つとして、再生可能エネルギー由来の電力を企業自らが調達する動きが活発化しています。VPP Japan では施設専用の太陽光発電所を施設の屋根に建設し、当該発電所で生み出された太陽光電力を施設に直接供給する太陽光 PPA サービスを 2017 年から国内では先行して提供しており、2022 年 1 月時点で本サービスの累計契約が、70 社、600 施設、太陽光発電容量が 150,000kW を突破しました。

バローホールディングス、ヤオコー、シーアールイー、名鉄運輸等の国内サプライチェーン企業を中心に全国エリアで導入を推進しており、これは太陽光発電所の設置面積にして約 1,500,000 m<sup>2</sup>、東京ドーム約 32 個分の規模となり、太陽光 PPA 契約実績としては国内最大規模となります。

### センコー株式会社と全国の物流拠点

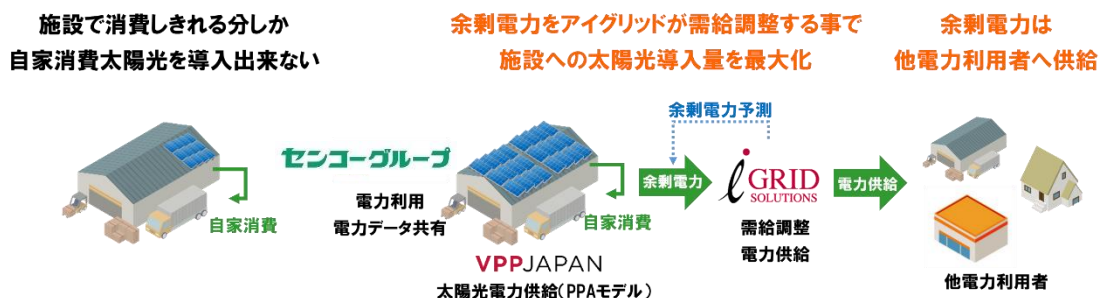
#### 10 施設 2,700kW の太陽光 PPA サービス導入を合意

直近ではセンコー株式会社と全国の物流拠点 10 施設、発電容量 2,700kW の太陽光 PPA サービス導入について合意しました。センコーでは、CO<sub>2</sub>排出削減の一環として施設への自家消費型太陽光発電所の導入を推進しています。

一方で、物流センターでは電力消費量が比較的少ない時間帯があるため、自家消費電力量では、太陽光パネルの設置台数が限定され、設備の広大な屋根全面にパネルを設置できないという課題がありました。



今回、VPP Japan、アイグリッドの「余剰循環モデル」を活用する事で、屋根全面に太陽光パネルを設置でき、消費しきれない太陽光余剰電力をアイグリッドが需給調整を行い、他の電力利用者に供給する事によって太陽光導入量を最大化し、活用する事が可能となります。



**従来モデル**

**余剰電力循環モデル**

## 今後は豊富なソーラーカーポート開発実績をもとに 商業施設や従業員駐車場等へのPPA導入も推進

VPP Japan では、施設屋根上を中心に本サービスを行ってきましたが、今後は更なる事業拡大を目指し、施設駐車場に設置可能なソーラーカーポート型のPPAサービスも展開する予定です。

なお、VPP Japan 親会社の株式会社アイ・グリッド・ソリューションズでは、2014年からこれまでに豊富なソーラーカーポートの開発実績を持っており、中でも2016年に稼働開始したスパリゾートハワイアンズソーラーカーポート(福島県いわき市)は国内最大級となる駐車場台数約770台、太陽光発電容量約2,100kWの蓄電池併設型のメガソーラーカーポートになります。



## ■株式会社アイ・グリッド・ソリューションズについて

アイ・グリッド・ソリューションズは、仮想発電所(VPP)事業、エネルギーマネジメント事業、電力供給事業を通じたGXソリューションを統合的に展開するエネルギーサービスプロバイダー。GXソリューション事業を推進し、グリーンエネルギーが地域をめぐる持続可能な世界の実現を目指します。  
環境省 第9回グッドライフアワード 環境大臣賞 最優秀賞受賞

社名：株式会社 VPP Japan

本社所在地：〒102-0083 東京都千代田区麹町 3-7-4

代表者：代表取締役 秋田 智一

資本金：3,470 百万円(2021年11月時点)※資本剰余金含む

設立：2017年6月

会社HP：<https://www.vppjapan.co.jp/>

社名：株式会社 アイ・グリッド・ソリューションズ

本社所在地：〒102-0083 東京都千代田区麹町 3-7-4

代表者：代表取締役社長 秋田 智一

資本金：5,023 百万円(2021年11月時点)※資本剰余金含む

従業員：100名

設立：2004年2月

会社HP：<https://www.igrid.co.jp/>

オウンドメディア「グリラボ」：<https://gurilabo.igrid.co.jp/>

<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社アイ・グリッド・ソリューションズ

担当：渡辺・河村 TEL:080-4008-2729(河村) mail:[pr@igrid.co.jp](mailto:pr@igrid.co.jp)

※新型コロナの影響で在宅勤務のため、携帯番号を記載させていただいております。